



# 地域の医療体制を しっかり守ります

垂水区の人口は約22万人。しかし、病院が足りません。いま、国と県が入院ベッドを再編・統合する計画を推進しています。計画が具体化されれば、神戸市内の医療に深刻な影響が出てしまいます。特に必要

なのは、急性期(救急・重症者など)の医療です。市民病院や大学病院など大病院だのみではなく、地元で安心して医療を受けられるようにすることこそ重要です。

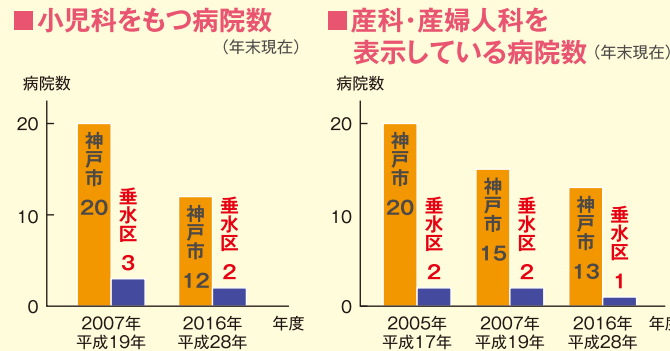
## 赤田議員の一般質疑 (2017年12月7日) から

**赤田議員:** 掖済会病院の小児科存続を求める多くの署名が集まっています。神戸市は署名の思いをしっかり受け止め、小児科存続のために必要な手立てを打ち、地域の子どもの医療を守る体制を整備するべきではないでしょうか。



**答 弁:** 病院には、存続に向けた具体的な方法を検討し、早急に回答するよう依頼をしました。垂水区など病床が少ない地域での病床整備が促進されるよう工夫し、地域の産科・小児科・小児救急医療体制を守ることに力を入れていきたい。

国が毎年社会保障費を削減し続けていることによって、医療機関の経営が厳しさを増し、医師不足も深刻になりました。日本共産党議員団は地域の医療を守るために国会議員とも連携して全力をあげます。



神戸市議員

### 困っている人をほっとけない! 「福祉の心」を神戸に取り戻す

# 赤田 かつのり

KATSUNORI AKADA

## 垂水区をもっと“好き”なまちに

身近なことから 地道に一生懸命



### 市長に要望書を提出してきました(昨年11月)

#### バス路線の拡充を

坂道が多い垂水の町。バス路線の改善が必要ではないでしょうか。

団地の方々と区役所に要望しました



買い物などで外出するのがたいへんです

垂水までが遠いです



夜間のバス停時刻表に照明が必要です

- 学園都市駅・舞子駅へのバスの便数・ダイヤの改善
- 学園南地区に中学校の新設を
- 敬老優待乗車制度をもとの無料制度に
- 垂水養護・青陽西養護学校跡地を住民に飲ばれる利活用に
- 区内に保育所、学童保育の充実を
- 父子家庭にも、母子家庭同様の支援策の実施を



### DV独りで悩まずに

DV(ドメスティックバイオレンス)被害に遭われている方の救済と保護、福祉の充実がますます重要になってきています。ひとりで悩んでいませんか? 困ったときは、たずねてみてください。

**DVの相談窓口**

**神戸市配偶者暴力相談支援センター**  
078-382-0037  
受付時間▶午前9時から午後5時まで (年末年始を除き毎日実施)

**兵庫県配偶者暴力相談支援センター**  
078-732-7700  
受付時間▶午前9時から午後9時まで (年末年始を除き毎日実施)

日本共産党議員団は専門相談員の24時間配置と、加害者の更生をはかるための対策の実施を求めています。

### 実現しました

#### 就学援助、入学準備金が3月支給に

小中学校に入学することもたちはランドセルや学生服など、まとまった費用がかかり、家計に大きな負担になります。就学援助制度には「入学準備金」という新入学学用品費のための制度がありますが、7月末にならなければ、支給されませんでした。日本共産党議員団は市民のみなさんとつよに神戸市に繰り返し働きかけてきました。今年度から希望者には3月ごろに支給を受けることが出来るようになりました。

**舞子台 本多間** 夜道が真っ暗。明るくしていただきました。



### 生活相談は赤田かつのり議員まで

暮らしの悩みや不安を独りで抱え込まないでください。なにか、解決の糸口が見えてくるかもしれません。私は生活相談活動から市が取り組むべき課題を学んできました。お気軽にご相談ください。

赤田かつのり